

日溶セがいで

第13号

I. 安全教育講習

(1) ガス溶接技能講習

平成20年 11/11(火) 11/12(水)、11/29(土) 11/30(日)、12/8(月) 12/9(火)、12/20(土) 12/21(日)、
平成21年 1/13(火)14(水)、1/24(土)25(日)、2/9(月)10(火)、2/24(火)25(水)、3/7(土)8(日)、
3/17(火)18(水)

(2) アーク溶接特別教育講習

平成20年 11/26(水) 27(木) 28(金)、12/17(水) 18(木) 19(金)、
平成21年 1/17(土)18(日)、2/25(水)26(木)27(金)、3/25(水)26(木)27(金)

II. 各種技術講習

(1) 非破壊試験 実技試験対策講習

超音波探傷試験	レベル1(UT)	11/25(火)~11/26(水)
	レベル2(UT)	12/1(月)~12/3(水)
浸透探傷試験	レベル1(PT)	11/27(木)
	レベル2(PT)	
	レベル1(PD)	11/28(金)
	レベル2(PD)	
	レベル3(PT)	10/16(木)
磁粉探傷試験	レベル1(MT)	11/13(木)
	レベル2(MT)	
	レベル1(MY)	11/14(金)
	レベル2(MY)	
	レベル3(MT)	10/23(木)
放射線透過試験	レベル1(RT)	11/5(水)~11/6(木)
	レベル2(RT)	11/10(月)~11/11(火)

(2) 抵抗溶接教育訓練講習会

平成21年 2/21(土)~22(日)

(3) 溶融亜鉛めっきの諸問題に関する実務教育講習会

11/26(水)~11/27(木)

(4) チタン利用に関する溶接実務教育講習会

平成21年 2/13(金)~14(土)

III. 溶接技能訓練講習

ステンレス鋼溶接 (被覆、ティグ、シグ)	11/5(水)~6(木)、12/3(水)~4(木)、 平成21年 1/7(水)~8(木)、2/4(水)~5(木)、3/4(水)~5(木)
アルミ合金溶接 (ティグ、シグ)	11/12(水)~13(木)、 平成20年 2/18(水)~19(木)
半自動アーク溶接(炭酸ガス)	12/2(火)~4(木)、平成20年 2/3(火)~5(木)

IV. 検定日

鋼溶接検定日	11/7(金)、11/21(金)、12/5(金)、平成21年 1/9(金)、2/6(金)、3/6(金)
アルミ溶接検定日	11/14(金)、平成21年 2/20(金)

発行所 財団法人 日本溶接技術センター
〒210-0001
川崎市川崎区本町2-11-19
Tel 044-222-4102
Fax 044-233-7976
URL <http://www.jwsc.or.jp/w.htm>

第13号の主な内容

- 1、JICA/NDT研修
- 2、非破壊検査の講習・研修プログラム
- 3、今後の主な講習会日程(平成20年度分)



JICA・NDT研修 風景1

I. JICA・NDT研修

独立行政法人 国際協力機構中部国際センター及び社団法人日本溶接協会の要請に基づき、**国際溶接技術者研修プログラム**(注1)の中の非破壊検査研修(**IWIP研修**)(注2)が日本溶接技術センターにて、10月1日～10月17日(実質13日、最終日は**J-ANB**(注3)試験)にわたり実施されました。

注1) **国際溶接技術者研修プログラム**: IIW (国際溶接学会)の溶接技術者認定制度に基づく研修プログラム)

注2) **IWIP研修**: IIW国際溶接検査技術者の認定制度に基づく非破壊検査研修

注3) **J-ANB**: IIW資格日本認証機構

この研修プログラムは、好評で今回が第5回の開催となります。本年はアルゼンチン1名、ヨルダン2名、メキシコ1名、セネガル1名、スリランカ2名、及びネパール1名の計8名の研修員が非破壊検査研修に参加しました。研修員は研究所の研究官、職業訓練学校や大学の教官などの方で、研修終了後は母国で溶接技術者を育成し産業振興と発展に寄与する役目を担っております。

IWIPのスタンダード・レベルの指針に従って、非破壊検査概論、非破壊検査方法の選定、超音波探傷試験(UT)、放射線透過試験(RT)、磁粉探傷試験(MT)、浸透探傷試験(PT)、目視検査(VT)等の非破壊検査に関する訓練に加えて、溶接欠陥とそれ等の評価、検査の品質管理、溶接部の機械試験方法と金属試験方法などの溶接検査技術者に必要とされる知識・技量を修得する訓練も実施されました。訓練の実施状況について写真をご覧ください。

訓練は本溶接技術センターの5名の非破壊検査の講師に加えて、2名の社外の非破壊関係の専門家の方にも協力をお願いして、充実した訓練プログラムのもと実施されました。非破壊検査の基礎と実技指導に重点が置かれ、時に研修員と講師の間での活発な議論も行われ納得のいくまで時間をかけて理解を深めてもらうことができました。

本年は、受入れた研修員の技術レベルの高さと真剣な受講努力もあって、全員が最終試験に合格するという最高の形で研修を修了することができました。



溶接部の磁粉探傷試験の実技指導



X線検査での溶接欠陥評価の指導



溶接試験片を用いた目視検査の実技指導

II. 非破壊検査の講習・研修プログラム

A. NDI資格取得の講習会

このプログラムは、JIS Z 2305非破壊試験技術者の認証制度に基づいて実施される資格試験において資格取得を目指す方々を特に対象として設定された講習プログラムです。資格試験には一次試験(筆記試験)と二次試験(実技試験)があり、春期(3月～6月)と秋期(9月～12月)の年2回実施されます。財)日本溶接技術センターでは、この資格試験の実施時期に合わせる形で、次の様な講習を準備しております。講習会の案内はホームページ(<http://www.jwsc.or.jp>)に掲載すると共に、過去に受講頂いた会社へはご案内を郵便でお届けしております。

基礎講習会: 初めて非破壊検査に従事しようとしている方を対象に、基礎知識の修得から始めて実技実習も取り入れ、短期間にレベル1資格に必要とされる技量(知識と技能)を修得して頂くための講習会です。

一次試験対策講習会: 資格取得を目指す方を対象に、一次試験の約1ヶ月前に開催する講習会で、問題演習も取り入れ、各資格レベルに必要とされる知識を修得して頂くための講習会です。

実技講習会: 一次試験合格者を対象に、実技試験で使用される試験体に近い試験体を用いて、二次試験で必要とされる技量を修得して頂くための講習会です。また、レベル2資格取得を目指す方には、実技指導に加えてNDT指示書の作成の指導も行います。

上記のレベル1及び2資格取得を目指す方を対象とするプログラムの他に、レベル3資格取得を目指す方のために、材料科学に関する講習会(一次試験用)とNDT手順書の作成を中心とする講習会(二次試験用)も準備しております。

B. 溶接・非破壊検査の融合教育

非破壊検査は溶接部の検査に広く活用されています。財)日本溶接技術センターでは、溶接及び非破壊検査の実技指導のための人材と施設の両方を兼ね備えている稀な機関です。この特徴を生かして、溶接施工の検査立会いに従事されている方や溶接部の検査員を目指す方、溶接施工の管理者を目指す方を対象として、溶接と非破壊検査の両方の作業を実習体験して頂き、溶接部の検査に必要とされる技量を修得して頂くプログラムです。受講される方の目的により適正なプログラムを作成し、研修の実施時期や期間についてもご要望に応えられるように準備しております。

C. その他

財)日本溶接技術センターでは、上記の他に、検査エキスパートの育成プログラム、X線作業主任者資格取得講習など、各種の人材育成用の講習・研修プログラムを用意して、社会の要求にお応えできるよう努めております。



超音波探傷試験の実技指導



放射線透過試験の実技指導



溶接作業の実習体験